

学校関係者評価報告書

愛媛県立北条高等学校

学校番号 ( 19 )

評価実施日		令和6年2月14日(水)	
委員	氏名	所属等	備考
	梶原 富彦	梶原動物病院長	欠席
	宮内 康輔	北条地区まちづくり協議会事務局長	
	矢野 裕司	北条ふれあいセンター館長	
	大黒屋貴稔	聖カタリナ大学人間健康福祉学部長	欠席
	田中 匡史	北条浅海郵便局長	欠席
	池田 浩二	北条北中学校長	欠席
	杉野 巻男	元堀江小学校長	
	難波江美穂	北条高等学校PTA会長	

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>1 今年度の最終評価について</p> <p>(1) 学校生活全般</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他校にはない総合学科の良さが生かされた学校経営が行われており、一人一人の生徒の個性に応じた教育が行われている。</li> <li>・地域の行事に生徒が積極的に参加し、生徒たちが地域を活性化してくれていることに地域住民は喜んでいる。今後も引き続き地域との関わりを大切にしたい学校づくりを望む。</li> </ul> <p>(2) 学習指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習時間の目標は達成できているが、家庭学習の指導に関する評価が生徒、保護者ともに下がっている。個別対応等の工夫が必要と考える。</li> </ul> <p>(3) 進路指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合研究全体発表会では、発表者や発表者へ質問する下級生を含めて成長を感じた。地域の高等学校で育てていただいている子供の様子を実感でき感謝している。</li> <li>・本日の「私のライフプラン」発表会では、「視野を広げたい」という意見発表が多かった。地域と関わっている色々な人と話すとよい。その時にはぜひ協力・連携していきたい。</li> </ul> <p>(4) 生徒指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒たちが気持ちのいい挨拶、会釈などをしてくれるのが良い。今後も自分から進んでできる子に育ってほしい。</li> </ul> <p>(5) 特別活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なぎなた部、レスリング部、アーチェリー部が全国大会や四国大会に出場している。吹奏楽部などの文化部も含め部員が少ない中でよく頑張っている。</li> </ul> <p>(6) 人権教育</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権教育に熱心に取り組んでおり、将来に向け、社会の一員としての人権感覚が適切に育てられている。</li> </ul> <p>2 学校運営への提言</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・周りの保護者からは、子どもたちが毎日学校が楽しい、という話をよく耳にする。先生方の対応がきめ細やかで保護者としても安心して学校に通わせることができる。</li> <li>・ホームページが充実しており、生徒の学校での様子がよく分かる。また、ホームページを通じて北条高校の良さが地域の方にもよく伝わっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数ならではの授業形態の利点を生かし、生徒の興味・関心に応じた学びを提供していく。</li> <li>・これまで以上に地域との関わりを重視した教育活動を実践していく。加えて、地域の小学校、中学校、大学機関等との連携強化に取り組んでいく。</li> <li>・生徒が将来に向けた自分自身の進路を明確にイメージできるような学習スタイルを確立し、主体的に学習に取り組むことができるよう支援していく。</li> <li>・3年次生が研究成果を発表する総合研究全体発表会は、1年次の「産業社会と人間」や、2年次「総合学習」を礎とした学習の集大成であり、校内のみならず地域の方々にも幅広く参加してもらえるようこれまで以上に啓発活動に工夫を凝らしていく。</li> <li>・1年次の「産業社会と人間」は総合学科の特徴的な学習の一つであり、今後も将来の進路実現に向けた、生徒の思考力・表現力の進展に尽力したい。</li> <li>・社会生活をしていく上での挨拶の重要性を説き、今後も継続して地域に愛される学校づくりを進めていくとともに、相手の立場や気持ちを考えて行動できる生徒を育成していきたい。</li> <li>・近年、生徒数が減少傾向にあるが、各部の顧問が工夫を凝らした練習メニューや個人競技に特化した密度の高い練習を行うことによって、今後も生徒の活躍の場を保障していきたい。</li> <li>・生徒の情報交換を教職員が密に行う体制づくりにも今後努める。また、人権委員を中心に人権意識の高揚につながる様々な啓発活動を充実させていく。</li> <li>・個々の生徒に目を配り、少人数での学びの利点を生かした生徒支援を引き続き行っていく。</li> <li>・毎日更新、即時更新を目標に、今後も生徒の活動や学校の情報発信に努めていきたい。</li> </ul>